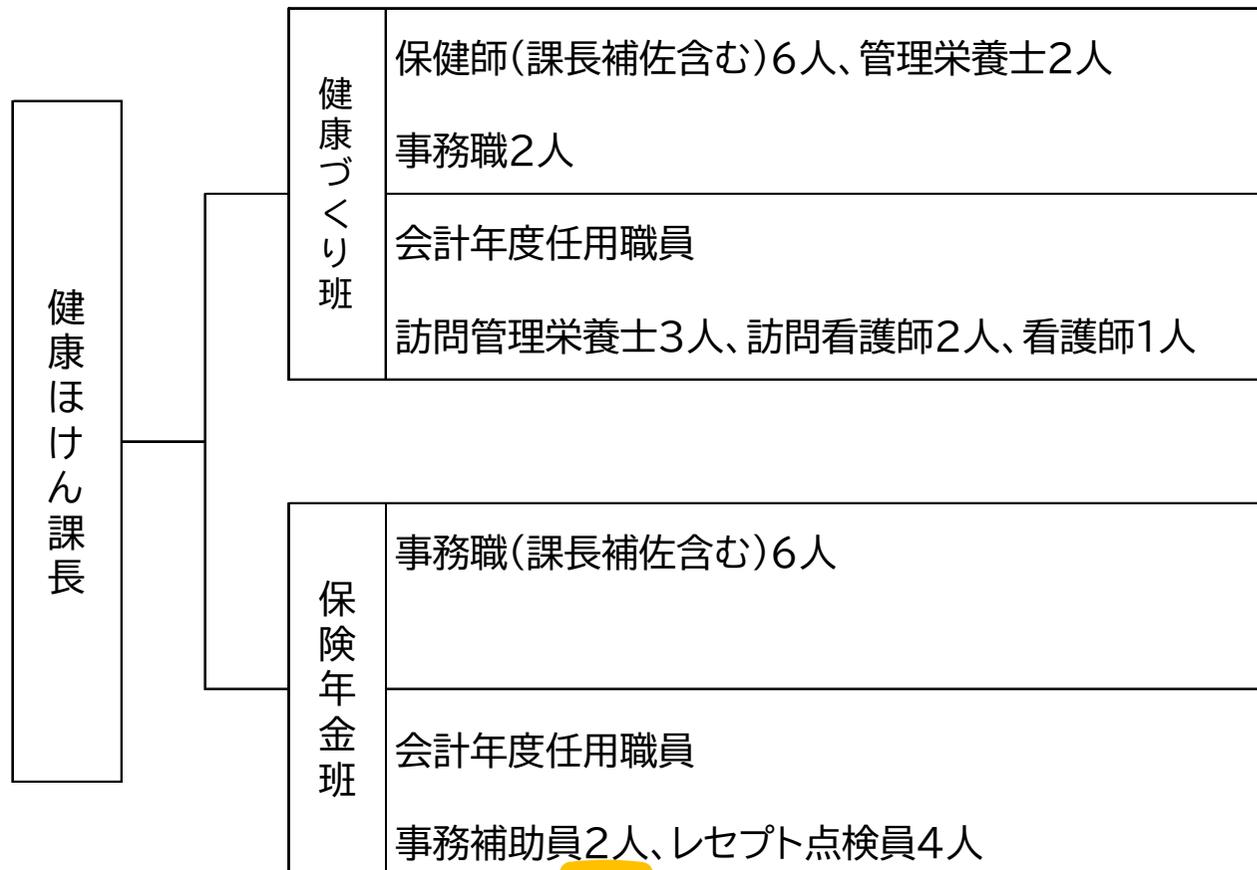


# 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第4期特定健康診査等実施計画進捗状況について

健康ほけん課 健康づくり班

# 健康ほけん課の体制

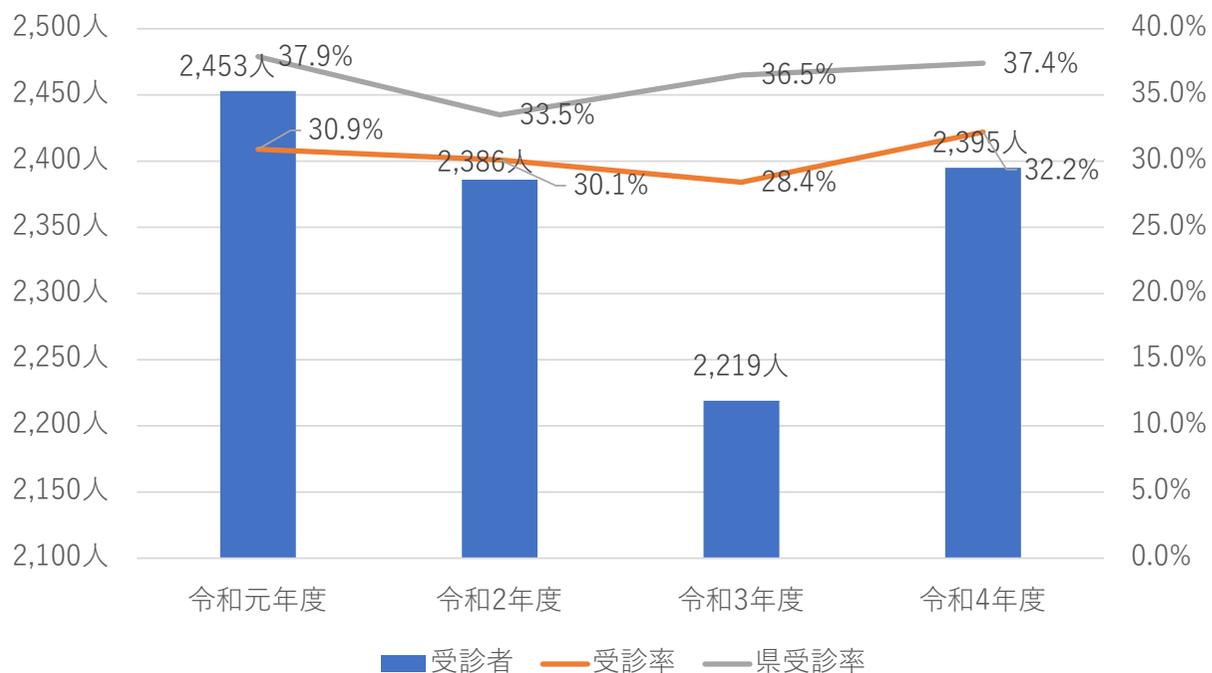
<成人保健事業に特化>



# 特定健診受診率の推移



特定健診受診者、受診率の推移



特定健診受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度まで低迷しており、目標は達成できていません。  
令和4年度目標：54.5%

生活習慣病は自覚症状がないため、多くの人が健診を受けて自分の体の状態を知り、早めに対処することが重要！！

また、若い時から健診を受ける習慣をつけることが重要！！

# 健診結果の経年変化

出典：ヘルスサポートラボツール

HbA1c6.5%以上の前年度からの変化

年度	HbA1c 6.5%以上	翌年度健診結果			
		改善率	変化なし	悪化	健診未受診者
H30→R01	230	53	79	22	76
	9.0%	23.0%	34.3%	9.6%	33.0%
R03→R04	189	38	66	22	63
	8.3%	20.1%	34.9%	11.6%	33.3%

# 健診結果の経年変化

出典：ヘルスサポートラボツール

## Ⅱ度高血圧以上の前年度からの変化

年度	Ⅱ度高血圧 以上	翌年度健診結果			
		改善率	変化なし	悪化	健診未受診者
H30→R01	113	56	20	5	32
	4.4%	49.5%	17.7%	4.4%	28.3%
R03→R04	103	42	15	8	38
	4.5%	40.8%	14.5%	7.7%	36.9%

# 健診結果の経年変化

出典：ヘルスサポートラボツール

## LDL-C160以上の前年度からの変化

年度	LDL-C 160以上	翌年度健診結果			
		改善率	変化なし	悪化	健診未受診者
H30→R01	393	158	94	30	110
	15.4%	40.2%	24.0%	7.6%	28.0%
R03→R04	320	126	72	20	102
	14.1%	39.3%	22.5%	6.3%	31.8%

重症化予防の観点から、HbA1c6.5以上、Ⅱ度高血圧以上、LDL-C160以上の有所見者割合をみると、改善率が下がっており、また健診未受診者が3割程度いるため、継続受診を勧める働きかけが必要です。

# 合志市の高額医療者集計

令和4年度高額医療者集計リスト（保険者データヘルス支援システムより）

疾病名	人数	費用	費用額/人
脳梗塞	119人 (レセ件数356件)	62,865,040円	528,278円
脳出血	47人 (レセ件数195件)	56,869,560円	1,209,991円
くも膜下出血	7人 (レセ件数7件)	154,820円	22,117円
虚血性心疾患	248人 (レセ件数932件)	101,808,920円	410,520円
大動脈瘤および解離	32人 (レセ件数75件)	17,991,330円	562,229円

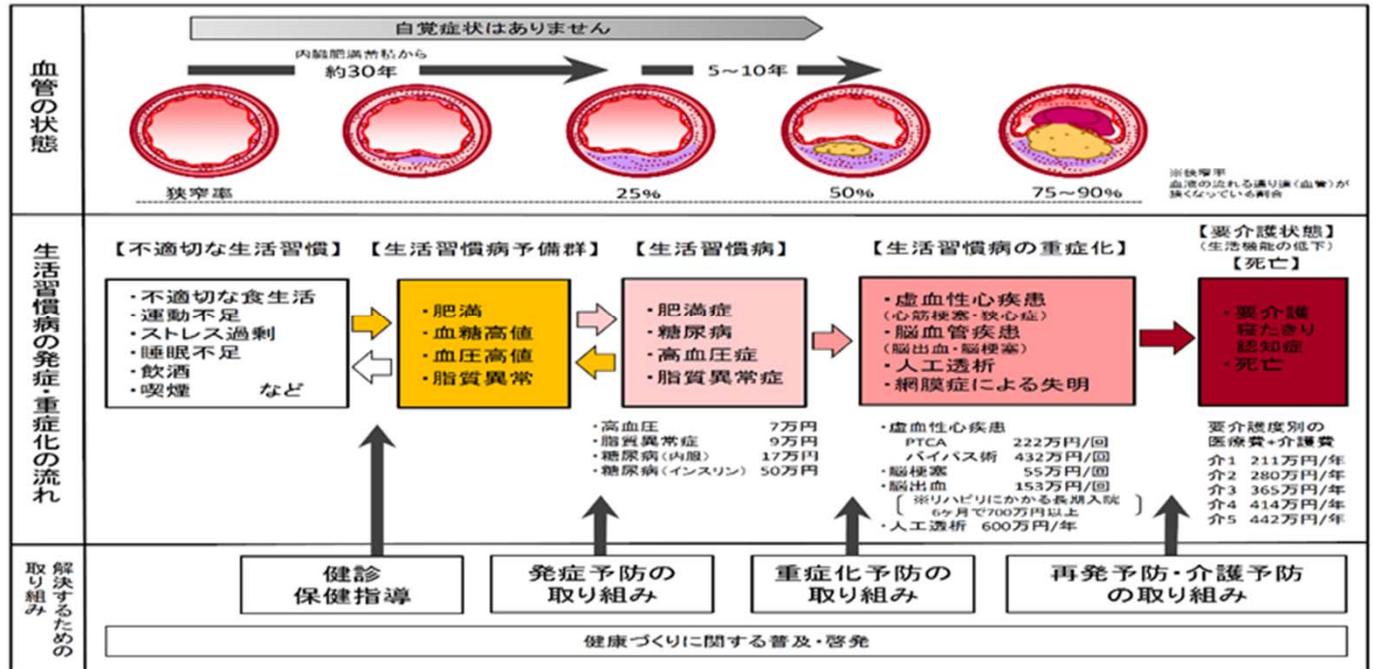
## 高額医療になる疾患は・・・

- 脳血管疾患や虚血性心疾患は、一度発症すると**再発リスク**が高まります
- **定期的な受診や内服治療**でしっかりコントロールする必要があります
- **後遺症**が残る場合があります、生活への影響も大きい
- 脳血管疾患は**認知症の原因**になることもあります
- 脳血管疾患や虚血性心疾患は、**血管が痛む**ことで生じることが多い疾患です。血管が痛む原因として、**高血圧や糖尿病、脂質異常症**があります。

高血糖や糖尿病、脂質異常症は“生活習慣病”です。生活習慣病が重症化すると脳血管疾患や虚血性心疾患となるのです。生活習慣病の発症予防や生活習慣病の重症化を予防することで、医療費の抑制につながるだけでなく、市民の生活を守ることにつながります。

# 重症化予防 の取り組み

生活習慣病の発症・重症化予防の流れ



生活習慣病の有病者や予備群を減少させるためには、生活習慣を見直す必要があります。

また、20歳以降の体重増加と生活習慣病の発症との関連が明らかであることから、若年期から適正な体重の維持に向けた保健指導、啓発を行うなど、40歳未満の生活習慣病対策も重要であると考えます。



## 健康ほけん課 の役割

- ①特定健診の重要性を伝え  
継続受診を促します
- ②健診を受診した市民への  
健康相談を実施します
- ③住民主体のボランティア  
組織と連携し、健康づくり  
の発信を行います
- ④病気にならない生活習慣  
の確立に向けて健康教室な  
ど実施し支援します

